

第2期別府市データヘルス計画 中間評価書

総合評価	アウトカム評価 : めざす姿として掲げている市民の「健康寿命の延伸」については男女ともに毎年伸びており、良好な経過である。
	アウトプット評価 : 各個別保健事業における様々な取組では、すでにR5年度の指標目標を達成しているものもあるが、その他多くは達成に向けてまだまだ取組の努力が必要である。
	プロセス評価 : 「健康寿命の延伸市内対策会議」等においてPDCAに沿った報告等を行い、進捗管理できている。
	ストラクチャー評価 : 5つの個別保健事業は関係各課と連携を図りながら担当者により着実に実施できている。
	* KDB等から得たデータや取組状況等を総合的に検証評価した結果、今後の取組の方向性に特別な変更は要しないと判断し、引き続き第2期計画を推進する。ただし一部目標値の修正および評価指標項目の追加、変更を実施する。

健康課題	優先課題	健康課題の分類				健対事業番号保	目的 (健康課題の解決)	目標 (課題解決の目安)	評価指標 (解決度を測る指標)	現状値 2017 (H29)	実績値					目標値 2023 (R5)
		医療費	健康状況	生活習慣	介護予防						2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
A 高血圧や糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化(CKD)の増加	✓	●	●	●	●	1・2・3	健康寿命の延伸	特定健診受診率※1 特定保健指導対象者の減少率(H20年度比)※2 重症化予防年間介入率※1 高血圧の有病率※3 糖尿病の有病率※3 年間の新規透析導入患者数※2	43.1% 33.1% 62.4% 20.14% 9.99% 20人	42.8% 28.6% 65.4% 20.27% 10.48% 15人	38.9% 39.6% 54.0% 20.05% 10.47% 9人				60%※5 25%以上※5 70.0% 19% 9% 10人未満	
B 上記疾患を原因とした壮年期の死亡	✓	●	●	●		1・2・3		壮年期の死亡率減少	特定保健指導実施率※1 生活習慣病の標準化死亡比(壮年期)※4 糖尿病 174.8 腎不全 186.2	34.1% (H24~28平均)	53.9% (H25~29)	54.4% (H26~30)				60%※5 100以下 100以下
C 脳血管疾患の発症による要介護状態の増加	✓	●	●	●	●	1・2・3		要介護状態の回避	介護認定率※3 脳血管疾患の有病率※3	16.7% 4.36%	17.2% 4.34%	17.5% 4.28%				15% 4%

※1: 保険年金課統計 ※2: 大分県国保連合会統計 ※3: KDB ※4: 大分県福祉保健企画課統計 ※5: 国基準のため変更不可

番号	保健事業分類	個別保健事業名	新規	重点	個別保健事業シート
1	特定健康診査	健診の受診率向上		重点	事業(1)
2	特定保健指導	保健指導の充実		重点	事業(2)
3	重症化予防事業	減塩の普及啓発		重点	事業(3)
		運動習慣の定着		重点	事業(4)
		住民組織の育成		重点	事業(5)

(参考様式: 東京大学未来ビジョン研究センター提供, 令和2年度)

【めざす姿 ~ 最終目的の指標】

健康寿命(お達者年齢※)の延伸		現状値 2017 (H24~28平均)	実績値				目標値 2023 (H30~R4)
		2018 (H25~29)	2019 (H26~30)	2020 (H27~R1)	2021 (H28~R2)	2022 (H29~R3)	
男	平均寿命(歳)	79.84	80.16	80.45			別府市平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	お達者年齢(歳)	78.27	78.63	78.97			
女	平均寿命(歳)	86.64	86.95	87.05			
	お達者年齢(歳)	83.50	83.89	84.04			

※お達者年齢とは、要介護2以上に認定されていない方を健康とみなして算出した大分県独自の指標

個別保健事業の2年間の取組状況

【事業(1)：健診（検診）の受診率向上】

- ・ 特定健診とがん検診の同時受診および土日や夜間受診機会の拡充（集団健診8回／年）
- ・ 受診意識の高揚を図るイベント（野菜マルシェ）を開催（120名以上参加／回）
- ・ 委託先や商工会議所・旅館ホテル組合等関係機関との連携強化 他



評価指標	ベースライン	目標値 (2023年度)	中間評価値	見直し
特定健診受診率	(2016年度) 39.6%	60.0%	38.9%	なし
胃がん検診受診率	(2016年度) 5.3%	50.0%	4.2%	目標値の修正：10.0%
肺がん検診受診率	(2016年度) 6.0%	50.0%	6.0%	目標値の修正：20.0%
大腸がん検診受診率	(2016年度) 5.5%	50.0%	4.1%	目標値の修正：20.0%
子宮がん検診受診率	(2016年度) 16.5%	50.0%	19.3%	目標値の修正：35.0%
乳がん検診受診率	(2016年度) 18.7%	50.0%	18.6%	目標値の修正：35.0%

〈今後の方針〉

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度末から受診率の低迷が見られる。
個別通知を主体とした未受診者対策を行い、受診率向上に努める。

【事業(2)：保健指導の充実】

- ・ **メディアを活用した広報**の拡充（ケーブルテレビの放映や地方誌e-yanの特集記事掲載）
- ・ 指導対象者の**かかりつけ医や特定健診実施機関との連携**を図り、保健指導を推進する（情報共有をした医療機関数63か所（2019年度））
- ・ 特定保健指導**未利用者への個別訪問等によるリコール**の実施 他



評価指標	ベースライン	目標値 (2023年度)	中間評価値	見直し
特定保健指導実施率	(2016年度) 26.6%	60.0%	54.4%	なし
重症化予防年間介入開始件数	(2016年度) 29件	150件	290件	目標値の修正：200件以上

〈今後の方針〉

新型コロナウイルス感染症の影響により保健指導を実施しづらい状況ではあるが、感染対策を十分行い、保健指導を受け入れてもらいやすい事業の展開を工夫していく。

【事業(3)：減塩の普及啓発】

- ・ 市内小学校への啓発チラシ配布（約5100人）
- ・ 民間企業との連携による「健幸弁当」の開発（3社4種）及び啓発イベント開催
- ・ 「Cookpad別府市公式キッチン」減塩レシピの掲載（レシピ数181、110万アクセス） 他



評価指標	ベースライン	目標値 (2023年度)	中間評価値	見直し
市民生活習慣実態調査における「濃い味付けを好む」人の割合	(2011年度) 45.9%	35.9%		
市民生活習慣実態調査における「食品購入の際、成分や産地表示を参考にする」人の割合	(2011年度) 45.0%	61.2%	他課実施の市民アンケート結果が整い次第評価する	
生活習慣病予備軍の減少(血圧値要指導以上(140/90以上)の人の割合)	(2016年度) 28.5%	25.0%		

〈今後の方針〉

現状の取組を維持しつつ、市民や関係団体の意見を取り入れた事業を行っていく。

【事業(4)：運動習慣の定着】

- ・ **ノルディックウォークの推奨**（体験会189回、のべ約4200名参加、指導者育成17名）
- ・ **「ゆったりストレッチ教室」を地区体育館等で実施**（年間約400回のべ約28000人参加）
- ・ **「週一元気アップ体操」など介護予防体操の新規開催地区の拡大** 他



評価指標	ベースライン	目標値 (2023年度)	中間評価値	見直し
市民生活習慣実態調査における「意識的に体を動かす」人の割合	(2011年度) 60.5%	65.0%	他課実施の市民アンケート 結果が整い次第評価する	
市民生活習慣実態調査における「定期的に運動をする人が増える」の割合	(2011年度) 34.2%	40.0%		
週1元気アップ体操の参加者数	(2017年度) 92人	400人	624人	目標値の修正: 670人
運動習慣(1日1時間以上)ありの者の割合(特定健診問診票より)	(2017年度) 45.0%	60.0%	49.0%	評価指標の追加

〈今後の方針〉

来年度の機構改革により健康に関する全庁的な取組を一つの部で行うことになる。
更なる事業の拡大・継続を図っていく。

【事業(5)：住民組織の育成】

- ・「いきいき健幸サポーター（地域リーダー）」の育成（現在160名）
- ・「食生活改善推進協議会員（食のボランティア）」の育成（現在53名） 他



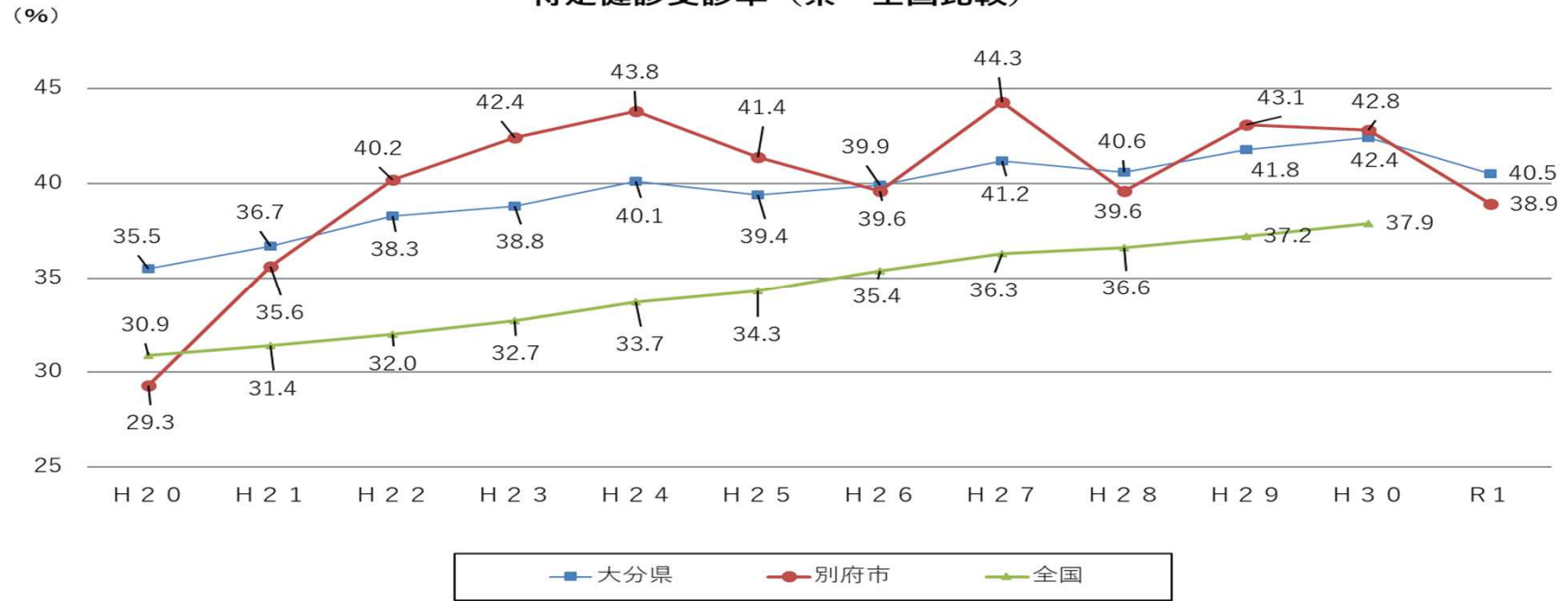
評価指標	ベースライン	目標値 (2023年度)	中間評価値	見直し
健康づくり活動における地域リーダー (いきいき健幸サポーター)の育成	(2016年度) 105人	250人	160人	なし
週1元気アップ体操開催場所の数	(2016年度) 4か所	20か所	35か所 ※	目標値の修正:57か所

※内、3か所は新型コロナウイルスの影響により現時点では開催していない。

〈今後の方針〉

育成講座を受講していなくとも実際に地域で活躍している住民もいる。この方たちの活用も積極的に進めていく。

特定健診受診率（県・全国比較）



特定保健指導実施率（県・全国比較）

